

44期生 i コンピテンシールーブリック調査結果

44期生（3年生）のiコンピテンシールーブリック調査についての結果を報告します。1年間調査にご協力いただきありがとうございました。本調査は、表1の質問項目について「1. 不十分である」、「2. やや不十分である」、「3. おおむね身についている」、「4. 十分身についている」、「5. 卓越的に発揮できる」の5件法で実施しました。

表1：質問項目

情報分析 活用力	I-1 課題解決するために、どのような情報が必要であるか考えることができる。 I-2 情報収集のための具体的な方法・手段をいくつか考えることができる。 I-3 情報を組み合わせて課題解決に活かすことができる。 I-4 情報の真偽を判断し、確かな情報に基づいて結論を導くことができる。 I-5 集めた情報を表やグラフ等を用いて数量的に表すことができる。
論理的 思考力	II-1 物事の全体の構成をとらえ、結論を判断することができる。 II-2 他者の主張に対して、誤りの有無を判断することができる。 II-3 自己の主張に対して、必要な根拠を示すことができる。 II-4 「比較する」「言い換える」「たどる」ことで、道筋を立てて自分の考えを組み立て結論を導くことができる。 II-5 「結論」から「理由」そして「具体例」という順序で話すことができる。
決断 実行力	III-1 対話による議論ができ、意見をまとめることができる。 III-2 伝えたい内容・相手に応じて正確に効果的に伝えることができる。 III-3 目標を達成するために、計画を立てて行動しようとする。 III-4 自分で判断し、状況に応じて臨機応変に対応しようとする。 III-5 自分の限界に挑戦しようとする。

【割合による比較】

情報分析活用力

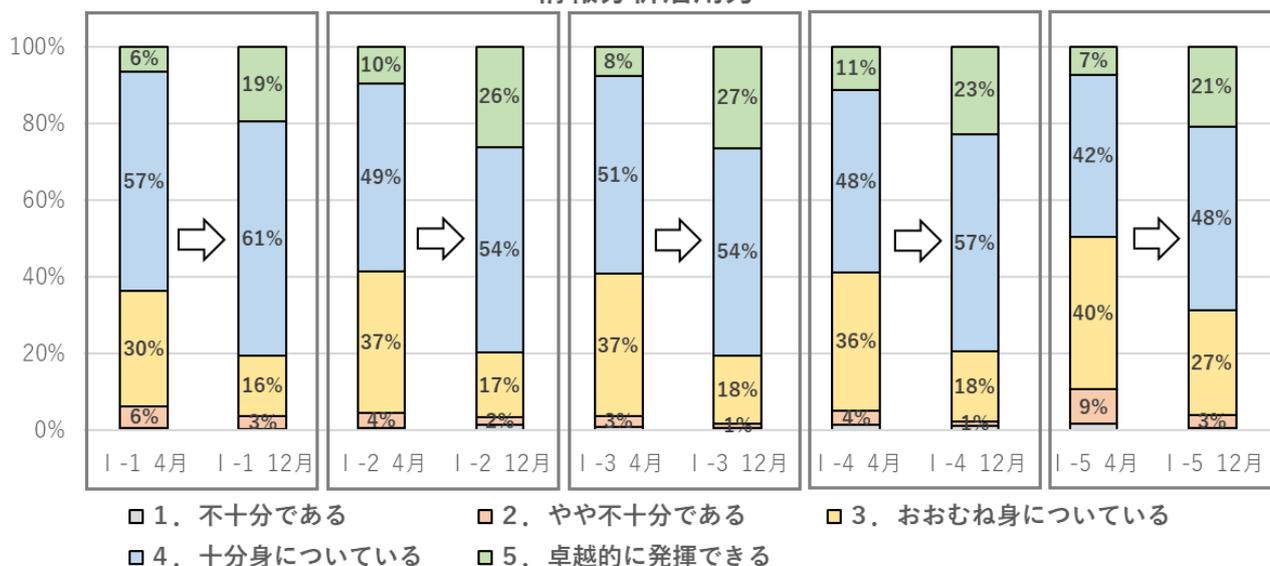


図1：情報分析活用力 I-1～I-5 各項目の4月から12月にかけての変容

論理的思考力

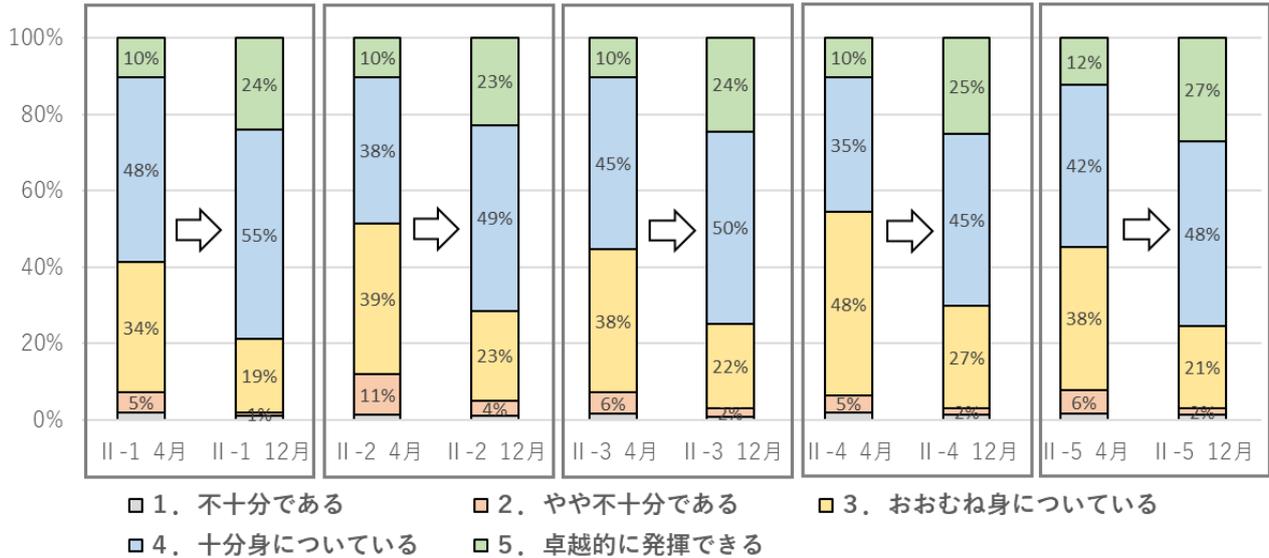


図2：論理的思考力Ⅱ-1～Ⅱ-5各項目の4月から12月にかけての変容

決断実行力

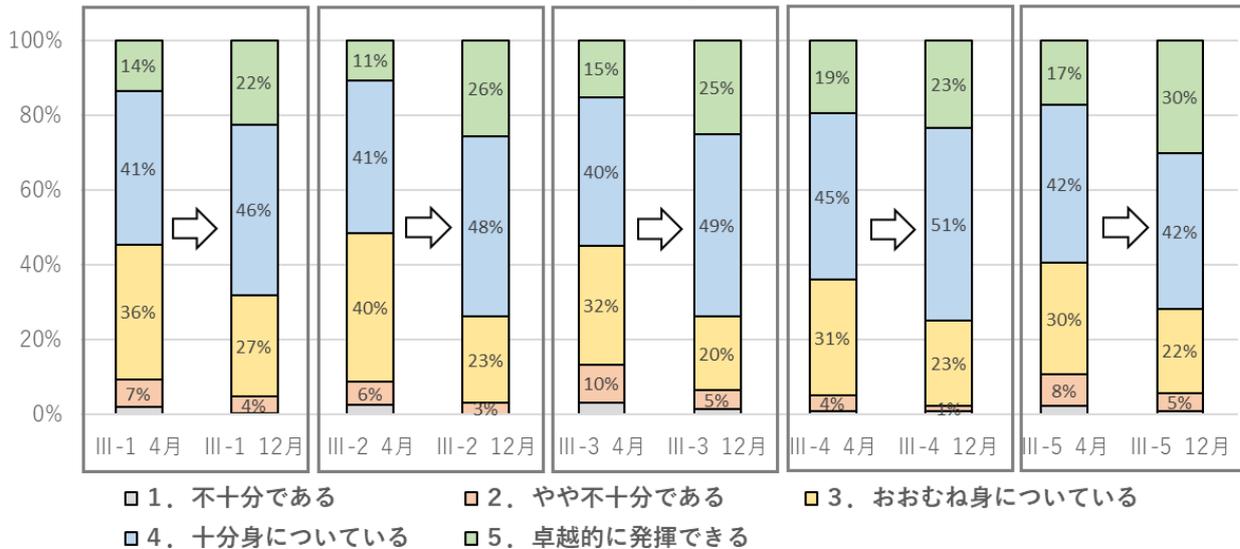


図3：決断実行力Ⅲ-1～Ⅲ-5各項目の4月から12月にかけての変容

それぞれの項目について、12月は4月よりも「おおむね身についている」や「十分身についている」の回答数が大幅に増加し、「不十分である」や「やや不十分である」の回答数が大幅に減少しているということがわかりました。

特に「Ⅰ-Ⅰ 課題解決するために、どのような情報が必要であるか考えることができる」や「Ⅱ-Ⅰ 物事の全体の構成をとらえ、結論を判断することができる」という項目では12月調査では肯定的評価（「4、十分身についている」、「5、卓越的に発揮できる」）の生徒が約8割に達していました。

3年間の高校生活の中で、学習・部活動・ボランティア・校外学習などを通して、学び・考え・行動した成果が、iコンピテンシーの上昇という観点からでも見て取れるのではないのでしょうか。